様式第４号

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	陸上競技場管理事業			コード	113501
２ 担当部課	部等	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者 伊藤　雅章

３ 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち	
		政　策	文化・スポーツの振興	施　策 スポーツの振興
	予算科目	陸上競技場管理事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	設置条例	なし		

●事業の内容（DO）

４ 施設の概要・設置目的

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

施設の概要（簡潔に）		日本陸上競技連盟第４種公認競技場（３００ｍ）　※岡谷東部中学校校庭
目的	対象者	市民全般
	意　図	陸上競技場利用者が、安全・快適に利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。

５ 施設の管理運営状況

指定管理者		28年度指定管理料	円
施設における通常業務	陸上競技場の維持管理、施設の使用許可、陸上競技場の環境整備		
事業の実施内容	（28年度に施設で行った運営事業・自主事業など） 陸上競技場の維持管理、施設の使用許可、陸上競技場の環境整備		
前年度の課題への対応	・陸上競技協会やＰＴＡ作業などに協力を要請し、整備を行った。 ・平成２９年１０月の公認更新に向け関係団体等と連携し、公認更新工事に向けた事前調査を行った。		

６ 施設の利用状況

＊①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力）　＊②・③はどちらかの欄に記入　＊

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 施設稼働率	0.9%	1.1%	0.6%	
年間開設日数（日）	365	366	365	365
１日の開設時間（時間）	12	12	12	12
年間利用可能時間（時間）	4,380	4,392	4,380	4,380
年間利用実績（時間）	40	48	28	
② 年間利用者数（人）	990	976	549	990
有料利用者数	0	0	0	0
無料利用者数	990	976	549	990
減免措置者数	0	0	0	0
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ １日あたり利用者数、件数	2.7	2.7	1.5	2.7
⑤ 施設利用状況の説明	・市民陸上大会及び前後期陸上教室等参加人数　・市民陸上大会中止による減			

7 コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	112,000	123,328	143,920	5,930,000
経常経費	112,000	123,328	129,980	130,000
臨時的経費	0	0	13,940	5,800,000
＊臨時的経費の説明	陸上競技場公認更新事前指導（H28）、公認整備工事（H29）			

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		800,000	800,000	800,000	800,000
正規職員の人数（人）		0.10	0.10	0.10	0.10
③ 合計コスト（①＋②）		912,000	923,328	943,920	6,730,000
前年度比			101.2%	102.2%	713.0%
財源内訳	一般財源	912,000	923,328	943,920	6,730,000
	特定財源	0	0	0	0
＊特定財源の説明					
④ 施設使用料年間収入額		0	0	0	0
⑤ 年間減免措置額		0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト		921	946	1,694	
前年度比			102.7%	179.1%	
⑧ コストに関する補足説明		市民陸上大会（秋）が雨天中止となり、年間利用者数が減となったことにより活動一単位あたりコストが増加した。			

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　妥当性　高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。　有効性　標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。　１日あたり利用者数、件数　前年度比　56.4%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。　施設使用料年間収入額　前年度比		

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること） ・岡谷東部中学校の校庭と兼用であるため、グラウンドが荒れてしまうことが課題である。 ・平成２９年１０月の公認更新がスムーズに実施できるよう、学校側及び関係団体等と調整していく必要がある。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ・陸上競技協会やＰＴＡ作業等に協力を要請し、整備を実施する。 ・平成２９年１０月の公認更新に必要な公認更新整備工事中の対応等について学校や関係団体等と調整を図る。
改善開始時期	平成２９年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B

13 大規模修繕の予定

予定事業費	5,800,000 円	予定時期	Ｈ２９．７月～９月
内容	陸上競技場公認更新整備工事（過去７回の工事費は平均7,500,000円） ※走路整備、インフィールド整備、幅跳び助走路整備、表面処理など		

様式第４号ー附表

平成28年度決算

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	113501	陸上競技場管理事業

１ 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
競技用消耗品	29,980		29,980	
事前調査派遣手数料		13,940	13,940	公認継続事前調査派遣手数料
整備委託料	100,000		100,000	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	129,980	13,940	143,920	

２ 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	0.10		0.10	人
合　計	800,000	0	800,000	円

３ 特定収入

単位：円

項　目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	0	0	0	

４ 一般財源

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計
合　計	929,980	13,940	943,920

平成28年度決算

施設の運営コスト計算シート

事業名	113501	陸上競技場管理事業

１ 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	0	0	0	

２ 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数			0.00	人
合　計	0	0	0	円

３ 特定収入

単位：円

項　目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	0	0	0	

４ 一般財源

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計
合　計	0	0	0